

# ふるさと再発見

## 先踊り

10月は各地で秋祭りが行われる季節です。

島原市でも、10月13日から15日にかけて猛島、霊丘、八幡の各神社で例祭が行なわれ、先踊りは14日に奉納されます。

この先踊りは、寛文九年(1669年)松平忠房公が島原城主として福知山から島原へ着任したとき、歓迎のため踊られたと伝えられる歴史の古い踊りで昭和54年に市の無形文化財に指定されました。

もともとは「大踊」と呼ばれていたように、この踊りが済むまでは他の踊りはできない決まりになっていたそうです。

踊りは、男だけで演じる勇壮な奉祝の踊りで、もともとは掛け声だけで音頭をとり、笛や鐘などの鳴り物は使わないものでしたが、今は、太鼓を使うようになっています。

行列は、先頭で着飾った稚児行列の音頭先、入羽・地・出羽の三種類の唄い手からなる音頭方、踊り手の三組で構成されています。

現在、桜町、加美町、白土町、寺町、上の原町、崩山町の人たちで保存会を



結成し、世話人を出して運営にあたることも、小学生に演技の伝承も行なっています。

先踊りは10月17日(日)に開催される「不知火まつり」で、島原先踊り保存会の皆さんが踊る予定ですので、ぜひご覧ください。

## クローズアップ Close Up!

### 「トラクタ耕競技大会で活躍」

8月3日・4日に茨城県で開催された「全国トラクタ耕競技大会」において、橋本哲生さんが2位に、宇土博幸さんが奨励賞を受賞しました。



市長に報告したときの様子  
(左から、橋本さん、市長、宇土さん)

この大会は5年に1度開催され、全国から選出された20人の農業機械士がトラクタ操作の直線・平行性や仕上りの美しさ・速さを競つもので、昨年8月に開催された県予選大会でそれぞれ1位・2位となり、県代表として出場したものです。

橋本さんによると「全国大会に向けて、宇土さんと練習を重ね大会に臨みました。1位とは1点差だったので、次回出場で

きるならば、優勝したいと思えます。また、運転技術を向上させ、いい野菜を作り、それを皆さんに食べていただきたいですね」と話してくれました。

また、同級生でもある宇土さんは「次回出場する機会があれば、橋本さんに大差をつけて優勝したい」と話してくれました。お互いの技術を磨き合い、島原の更なる農業発展のために頑張ってください。



全国2位に輝いた橋本さん

島原は農業が盛んな地域です。皆さんも、生産者の思いがいっぱい詰まった島原産の元気野菜を食べてみてはいかがでしょう。